

JP 2007-28088 A 2007.2.1

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2007-28088

(P2007-28088A)

(43) 公開日 平成19年2月1日(2007.2.1)

(51) Int. Cl.

H04N 5/235 (2006.01)

H04N 101/00 (2006.01)

F I

H04N 5/235

H04N 101/00

テーマコード (参考)

5C122

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 22 頁)

(21) 出願番号 特願2005-205952 (P2005-205952)

(22) 出願日 平成17年7月14日 (2005.7.14)

(71) 出願人 000001270

コニカミノルタホールディングス株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目6番1号

(74) 代理人 100067828

弁理士 小谷 悦司

(74) 代理人 100098150

弁理士 佐藤 孝夫

(74) 代理人 100099955

弁理士 樋口 次郎

(72) 発明者 片桐 哲也

東京都日野市さくら町1番地 コニカミノ
ルタテクノロジーセンター株式会社内

(72) 発明者 佐藤 一隆

東京都日野市さくら町1番地 コニカミノ
ルタテクノロジーセンター株式会社内

最終頁に続く

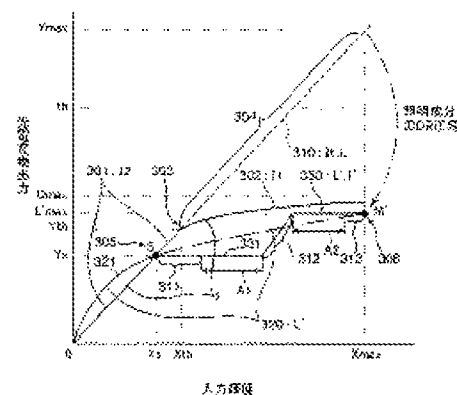
(54) 【発明の名称】 撮像装置及び画像処理方法

(57) 【要約】

【課題】 狭い焼き処理において、画像の所要箇所における照明成分の明度差を大きくする。

【解決手段】 撮像手段によって被写体光を撮像し、照明成分抽出手段によって撮像手段による撮影画像から照明成分を抽出し、反射率成分抽出手段によって撮影画像から反射率成分を抽出し、圧縮特性設定手段によって、撮影画像に対する少なくとも2つの所定の領域が設定されるとともに、当該各領域間の明度差を強調する圧縮特性を設定し、圧縮手段によって、圧縮特性設定手段により設定された圧縮特性に基づいて照明成分のダイナミックレンジを圧縮し、画像生成手段によって、このダイナミックレンジが圧縮された圧縮照明成分と反射率成分とから新たな画像を生成する。

【選択図】 図3



入力ダイナミックレンジ

JP.2007-028088.A

STANDARD

ZOOM-UP ROTATION

No Rotation

REVERSAL

RELOAD

PREVIOUS PAGE

NEXT PAGE

DETAIL